

活動報告

1999年度(1999年4月1日-2000年3月31日)

- ①第9回総会及び講演会開催 於:ホテルオークラ神戸
講演会講師 黒田嘉和氏(神戸大学医学部第一外科教授)
テーマ「糖尿病性腎不全に対する
腎腎同時移植について」 (4月24日)
- ②会報「Gift of Life」Vol.7 発行 (8月)
- ③第29回日本腎臓学会西部学術大会
公開シンポジウム共催 (10月9日)
- ④臓器移植病院連絡会議支援 (10月19日)
- ⑤神戸新聞に啓蒙広告掲載「増える腎不全 望まれる移植医療」
兵庫県内53万部配布 (10月24日)
- ⑥兵庫県移植コーディネーター曾我明美氏へ活動支援 (12月)
- ⑦移植推進啓蒙のためのマグカップ300個を制作 (12月)

- ⑧10周年記念特別講演会開催 (2000年2月26日)
「生きるに値する人生」講師 曾野綾子氏
於:ポートピアホテル
兵庫県「臓器移植を考える県民大会」も共催

2000年度活動計画(2000年4月1日-2001年3月31日)

- ①会報「Gift of Life」Vol.8 発行 (6月)
- ②第10回総会及び「石神先生を偲ぶ会」開催 (7月)
- ③神戸新聞に啓蒙広告掲載 (10月)
- ④兵庫県移植コーディネーター曾我明美氏を支援
- ⑤「世界移植者スポーツ大会」(2001年8月25日-9月2日)に協力
- ⑥新会員増強に努める



発行: 兵庫腎疾患対策協会
住所: 〒659-0093 芦屋市船戸4-1
ラポルテ4F (安井眼科内)
TEL: 0797-31-8288
FAX: 0797-22-6144

Gift of Life

創立10周年記念号
兵庫腎疾患対策協会会報



祝辞

兵庫県理事
後藤 武

兵庫腎疾患対策協会の設立10周年を心からお喜び申し上げます。

腎疾患対策協会におかれては、腎疾患の予防から移植までの総合医療体制の確立をめざし、特に会報誌の発行等による啓蒙活動を積極的に展開されており、会員の皆様の日頃のご尽力に対し、深く敬意を表します。



兵庫腎疾患対策協会
設立10周年によせて

神戸大学医学部泌尿器科教授
兵庫腎疾患対策協会
会長 守殿 貞夫

兵庫腎疾患対策協会が10周年を迎えました。この節目に当たりひとことご挨拶申し上げます。

腎臓は、「肝腎かなめ」という言葉に使われるほど、大切な臓器です。ヒトの身体の恒常性を維持するために、腎は営々と働いています。体の水分・電解質の調節、代謝産物の排泄に始まり、血圧の調整、赤血球産生ホルモン分泌などの重要な機能を担い、人体の隅々までそのバランスをとる仕事をこなしています。人間社会にたとえれば、気配りして会社の円滑運営を支えている人事部長や、大学病院であれば苦勞の絶えない医局長といったところでしょうか。人生80年の間、このバランス屋さんが壊れないで働いてくれるように、もし何らかの事象により腎疾患に罹患することがあれば最善の治療を受けることができるように支援する民間団体として、兵庫腎疾患対策協会は活動を続けてまいりました。

国際ソロブチミスト神戸東の方々の絶大なるサポートの

また、「Gift of Life 講演会」を「臓器移植を考える県民大会」に合せて開催されるなど、県の保健医療行政には多大のご協力を賜り、この機会に改めて厚くお礼申し上げます。

脳死からの臓器移植については、国内ではこれまでに7例が実施されており、昨年6月には県立西宮病院で4例目となる腎臓移植が行われました。この一方で心停止後も移植可能な腎臓は、その提供者が減少しているところであり、今後の移植医療の普及啓発に当たっては、関係機関のなお一層のお力添えをお願いするところです。

設立10周年を新たな契機として、腎疾患対策協会が今後とも多くの患者の皆さんの期待と信頼に応えられ、ますますご発展されますことを祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

もとに初代会長の石神義次先生が掲げられた理念は、腎疾患予防と治療の総合的対策を推進するための一助とならんため、ボランティア精神のもとに、広く市民に啓蒙活動を展開し、学校検診から腎移植にいたる数々の保健対策や医療の浸透を計っていかうというものでありました。そして、毎年、10月の腎移植推進月間には兵庫県とともにいろいろなキャンペーンを行い、県民に腎の大切さ、腎疾患への理解を深めてもらうことにおいて、大きな成果を挙げてまいりました。また、たびたび開催いたしております公開講演会では、当代一流の講師に、医療とヒトの生き方とのかわりといったテーマを中心にお話いただき、それらを通して市民各位の移植医療への理解を深めてまいりました。移植コーディネーターが本協会の助成で育っていったことも、特筆すべき事業であると感じております。

時代は21世紀を目前に、大きな転換期に差し掛かっております。私が石神先生から会長を引き継ぎ、2年が経過いたしました。わが国の腎疾患対策、とりわけ献腎移植の停滞という現状は、今一度皆様がこの問題を原点から考えていただく時であることを示しているものと考えております。

10周年を機に、「Gift of Life」という言葉の重みを改めて噛みしめながら、兵庫腎疾患対策協会の進むべき方向を会員諸兄とともに、模索していきたいものです。皆様のご協力をお願い申し上げます。

2000年度 兵庫腎疾患対策協会 役員・幹事

会 長	守 殿 貞 夫	幹 事	荒 川 創 一	兵 庫 医 科 大 学 名 譽 教 授	杉 本 照 子	兵 庫 県 腎 植 移 会 の 会 長 助 役	中 道 弘 一	安 井 多 津 子	安 井 眼 科 医 院 全 腎 協 会 会 長
副 会 長	藤 田 嘉 一		生 駒 文 彦	兵 庫 医 科 大 学 名 譽 教 授	高 光 義 博	長 久 天 満 診 療 所	長 久 謙 三	芳 野 芳 一	
	藤 岡 辰 宏		菊 地 耕 三	兵 庫 医 科 大 学 腎 臓 科 助 教 授	田 口 隆 子	兵 庫 医 科 大 学 腎 臓 科 助 教 授	八 馬 富 久 子	吉 永 和 正	
	森 村 美 佐 子		後 藤 武 男	兵 庫 医 科 大 学 腎 臓 科 助 教 授	寺 杣 一 徳	兵 庫 医 科 大 学 腎 臓 科 助 教 授	福 西 孝 信	国 際 ソ ロ ブ チ ミ ス ト 神 戸 東 代 表	
会 計 監 査	黒 丸 正 四 郎		小 中 節 子	兵 庫 腎 友 会 会 長	豊 永 清	神 戸 大 学 泌 尿 器 科 助 手	藤 澤 正 人		
	西 村 多 枝 子		坂 井 瑠 実	甲 南 病 院 院 長	内 藤 秀 宗	三 木 市 民 病 院 泌 尿 器 科 部 長	松 本 修		

〈新幹事紹介〉

ソーシャルワークの視点を

兵庫医科大学社会福祉学科名誉教授
ソーシャルワーカー
杉本照子

外務大臣、吉田茂と記された黒皮表紙のパスポートを手
に、第二次世界大戦の平和条約締結前1950年アメリカに渡
りました。その頃の日本は女性が大学に入学を許されない
時代でした。渡米後、医療で働くソーシャルワーク（以下、
SWと略す）の専門職を薦められ奨学金を頂きました。米
国では、医師、看護婦、SWは、同じ4年生大学で学び、
学士号取得後それぞれの大学院で専門教育をうけるよう
なっています。私は社会福祉教育を受けた後アメリカ各地
の病院で働きました。移植を必要とする弟に自らの腎提供
を決意後の姉の心の葛藤、他者の臓器が自分のからだの中
にあることの違和感に悩む男性等に対するカウンセリング
援助が今も心に残っています。

1962年帰国後、米国と比べて日本に腎疾患の子どもが多
いことに驚かされました。SWとして働いていた病院で、
早速小児科医と協働してネフローゼの子どもの会をつくり、
患者のケアや生活問題などの相談活動にとりかかりました。
30年近く動いていた兵庫医科大学病院では、SWが、肝、腎、
その他の移植患者と家族に関わり、家族、社会、生活、心理、
精神的背景を十分に把握してさまざまな相談支援活動を行
っています。必要に応じてインフォームドコンセントの場
にも立ち会います。

数年前、母校のミシガン大学メディカルセンターを訪れ
ました。透析部門の医師とソーシャルワーカーの計らいで

長期透析患者／家族に面接しました。その中の一人は、85
歳の黒人、デトロイト市の高校教師で、夫がしっかり付き
添っておられました。患者は重度痴呆、意思の疎通も不可
能でした。妻が透析を離れる時期について医師及びSWと
もう2年以上話し合ってきたこと、その時期がいよいよ近
づいていることを穏やかな口調で語られました。最善を尽
くしたこと、本当に良くしてもらったと医療機関スタッフ
への暖かい感謝の気持ちがとても印象的でした。確実に、
主体的に死を選びとる時代に入っていることを感じ、その
為の専門的相談業務の大切さを痛感しました。日本の国立
大学には社会福祉の学科がありません。ソーシャルワーカー
配置数として業務への理解度の後我の差は埋めようもあ
りません。

Helping Professionに就いて以来半世紀、人を支援する
ということはその何倍も自らが支援され、多くを与えられ
ることであるとしみじみ感じています。現在は、患者、家
族相談に応じつつ、関西学院大学、東海大学と北里大学大
学院医療系研究科などで、医師、コメディカル、後輩など
の育成と教育に従事しています。

この度、兵庫腎疾患対策協会にかかわらせていただくこと
となり、少しでも過去の経験を活かしてお役に立てればと
願っております。よろしくご指導をお願い致します。

透析医療と市場原則

(財)甲南病院 院長
内藤秀宗

昨今の政治の話題性と言えば、「国旗・君が代問題」「神
の子」など日本の国家の根幹を揺るがす問題ではあるが、
こう言う点に目を奪われ医療や福祉の政策決定が遅れ、尚
かつその中身の肝心な事が国民不在のまま移行し始めている。
勿論、介護保険法や国民健康保険法、在宅看護・介護
の施行の立ち遅れまではご存じの方は多いと思うが…。

すでに資本主義が円熟期を迎えていた30年前から自由市
場経済に任せると必ずや社会弱者が淘汰されてしまうと述
べた経済学者がいた。勿論ここで指す弱者とは医療や福祉
を必要としている人々である。この現象はアメリカの医療・
福祉政策が市場経済に委ねた結果、どんなに愚劣とも言え
る市場原則の参入によって医療・福祉と言った言葉さえも
幻と思われるが如く崩壊し、市場主義の波に揉まれている。
この現状は、アメリカ国民や医療関係者の断末魔の声を聞
けば実証される。いわんや透析医療への市場介入の結果、
日本に比べ2-5年患者の生存率の低さは有名である。
「アメリカの透析患者の数が少ない事は移植医療が推進さ
れているからだ」と言った日本での現実離れた評価は別
としても、「透析患者の数の減少（死亡）によりアメリカ
の医療経済は救われた」と堂々とアメリカ国内で言われて
いる点は、他の医療福祉が如何に市場経済に犯され深刻な
危機に至っているかを物語っている。

また、スエズ運河でユニオンジャックが降ろされて大英
帝国の夢が崩壊したにも関わらず、「かつての大英帝国の
誇り」に夢を託しそれを保とうとケインズ論で成り立った
「播り駕籠から幕場まで」と言った政策を取った英国でも、
経済の崩壊に直面しサッチャーによって変貌する。いわゆる
それまでの「大きな国家」から「小さな国家強い国家へ
の転換」である。その結果は、従来の古典的制度を保った
ままでの社会福祉関係の出費の低下は見られず、結果的に
は資本主義は活力を取り戻したものの、弱者が切り捨てと
なってしまう。プレアの時代になると福祉に依存してい
た人々に就業のチャンスを与えると言う福祉医療の建て直
しを計ったが、一人親の問題や充分な収入を得ないもの、
透析患者は矢張り切り捨てられる政策が取られた。

この様に、その時々の世界の社会経済の流れや国の政策
によって医療福祉は大きく振り回される。

さて、日本に目を転じて見ると政策の方向性の無いまま
福祉政策の大転換期を迎えようとしている。手短かに透析医
療で考えたと移植の立ち遅れは言うまでもないが、透析医
療もその根元が揺らいでいる事が視えてくる。現在の透析
医療費は、年間1兆円ほど掛かり約19万人の透析患者を抱
えて20-30年生存も数多くいる。この現状だけ見ると世界
に冠たるものでは有るが、その裏には、今後の透析医療の
崩壊が隠されている様に思える。

現状では、透析初期に始めた患者に長年土曜日では勿論、
休日もを返上して長年働きた結果「肉体的、精神的な劣化」
が起り、透析医療の苛酷さに肉体的、精神的な劣化が生
じ始めアウトソーシングの介入を許し始めた点である。こ
の傾向は次ぎ次ぎと伝播する事は歴然としている。これは
透析医療に対して患者の85%を「良」に委ね、「標準科」
にもせず、透析医学教育も片手間で医者の受給バランスを
失わせた政策の拙さが生んだ結果であろう。これに拍車を
掛けるが如く、透析医の労働対費用効果を無視した医療費
の削減により、若い医者に取って魅力ある職場とは言えな
くなった。これらの視点から、透析医療は加速度的に崩壊
かアウトソーシングの介入による市場経済に任せられるか
の二者選択の時が迫っている様に思える。

お 願 い

協会の活動のため、ひきつづき新会員の紹介と
温かいご支援をお願いいたします。

●正会員	個人会員	入会金	7,000円
		年会費	3,000円
	団体会員	年会費	10,000円
●賛助会員			1口 1,000円

ご寄付・会費振込口座

- さくら銀行 芦屋駅前支店 ③ 3511181 兵庫腎疾患対策協会
- 郵便局 神戸F0110-1-9421 兵庫腎疾患対策協会

臓器提供意思表示カード



正しく記入して携帯しましょう。